

# 教育研究研修センターだより



通巻 No.275

令和4年3月15日(火)発行

## 回 想

岡山市中学校長会長

岡山市中山中学校長

三木 満徳

現存する世界最古の木造建築「法隆寺」は、千四百年以上もの間、風雪に耐え、悠然とした姿を誇っています。このことを宮大工棟梁の西岡常一さんは「私はここに現実としての木の命を見、木の心魂を見る心地がいたします。」とされています。また、「もの言わぬ木と、よう話し合って、命ある建物に変えてやるのが大工の仕事ですわ。」「癖の強い木ほど命も強い。その個性を見抜いて使ってやる方が強いし長持ちする。」さらに「癖のない木は扱いやすいので、個性を大事にするよりも平均化してしまった方が仕事はずっと早い。性格を見抜く力もいらない。そんなに訓練せんでもすむ。それなら昨日始めた大工でもいいわけですわ。」と続けられています。この匠の言葉に“個々の真の価値を読む姿勢・力量”の大切さを改めて感じます。

私たちは、時折「都合」で物事を進めようとすることがあります。私たちは、よく「無難」を選ぼうとします。それにはそれなりの理由がありますが、それは本当に理由なのか、それとも言い訳なのかと、校長として自問することがよくありました。学校教育で、社会性や協調性を身に付けていくことや各教科から学力を身に付けていくことは言うまでもなく大切なことです。しかし、その過程に「都合」や「無難」の匂いのする安定を求めると、個々の個性を平均化しようとしてしまうことにもなりかねませんし、個性の伸長を減速させてしまうことにもなりかねません。光の当て方によって輝き方が違う個々に、同じ光の当て方で同じように輝かせようとしても限りがあります。一方で、同じように身に付けて、同じように輝いてもらいたい面も多くあります。

急速かつ大きく変化する社会の動きとともに、学校教育の中で、個別的な部分と集団的な部分の区別とバランスがより強く求められるようになったと感じます。この2つをつなぐ基盤となるのが、“個々の真の価値を読む姿勢・力量”ではないかと思います。個々はその個性を発揮し自分らしく生きるためには、個々の価値を自他ともに理解し尊重できなければなりません。人権尊重の精神です。自分の存在に自信を持ち、自分らしく生きようとすることは、自立に向かって成長する姿であると思います。「個性の発揮」「自立」には、人権尊重の精神をはじめとする本人を取り巻く人々の支援が不可欠です。個性を読みながら、それを伸ばす環境や互いに認め合う環境を整えることは、子どもたちが、堂々と失敗と成功を繰り返しながら自分づくりと向き合っていくことに直結する大切なことだと思っています。

悠久の時を経てきた法隆寺は、癖の強い厄介者扱いされがちな木々たちが認められ生かされた価値の結晶と言ってもいいでしょう。

一人一人の子どもたちの一つ一つの未来に、必ずそれぞれの輝きがある。私たちは、そのことに胸躍らせながら、日々を過ごしていきたいものです。

# 2年目を迎えたOJT若手教員育成支援プロジェクト

## 事業目的

「若手教員の指導力向上」「校内の若手教員育成支援体制の構築・充実」

## 参加校及び対象若手教員数

\*〔 〕内は令和2年度

	参加校	教諭	常勤講師
小学校	41校〔33校〕	68人〔55人〕 (2年目:34人, 3年目:34人)	61人〔58人〕 (1年目:33人, 2年目:14人, 3年目:14人)
中学校	15校〔14校〕	18人〔15人〕 (2年目:12人, 3年目:6人)	30人〔20人〕 (1年目:20人, 2年目:9人, 3年目:1人)

## 参観授業

道徳科の授業では、児童が真剣に「人との関わり」について学び合い、自分のこととして考える姿が見られました。



理科の授業では、「ゴムのはたらき」を広いスペースを使って行いました。若手教員をはじめ、多くの先生方が参観しました。

## 研究協議

「めあてとまとめの設定」「主体的・対話的で深い学び」「指導と評価の一体化」といったテーマから、「板書」「机間指導」「学習規律」「学級経営」「教室環境」「生徒指導」等について、話し合います。



メンターや若手教員育成担当者が参加し、協議の進行や助言を行う学校もあります。

## 若手教員の感想

○学習規律、生徒指導、学級経営等、毎日過ごす中でやらなければいけないことはたくさんあるけれど、「授業」が一番大事な要となるものだと分かりました。毎回のOJTは授業のことだけではなく、ためになる知識や実践してみたいと思えることがたくさんあり、学びながら楽しい時間になっていました。(小学校教諭2年目)

○自分で考えたり、調べたりするだけでなく、研究協議で他の先生方の考えや意識していることを聞くことで、「そのような気付きもあるのか」「自分の授業に生かしていこう」と思うことがたくさんあり、授業を改善していくことができました。(中学校講師3年目)

## 参加校の校長の感想

○授業づくりの基本と学級経営を絶えず結び付けた助言を受けました。若手教員の明日からの実践に生きる、できそう、やってみようという気持ちにつながりました。また、本校メンターとの連携が十分になされたので、効果的・効率的な研修の時間をもつことができました。このプロジェクトを通して、メンターがしっかりと力を発揮でき、本校の若手教員支援体制が充実しました。

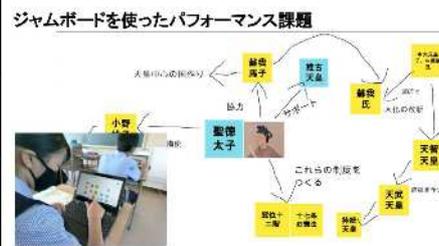
(小学校長)

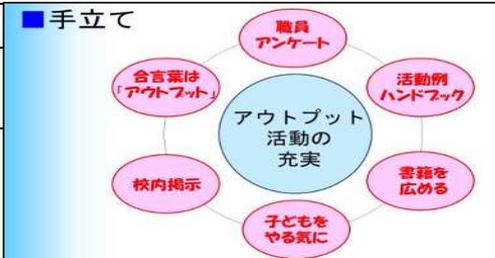
○若手育成のために改めて時間を設定することがなかなか難しいのですが、このプロジェクトに参加し、若手教員の他者の授業を評価する力、自らを振り返る力、生徒を観察する力、他教科からも学ぶ力などが伸び、有意義な機会を得ることができました。(中学校長)

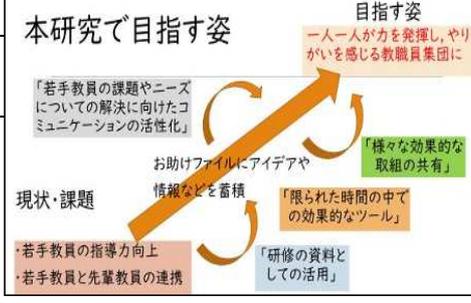
# 「岡山市の教育をよりよいものにするために」 ～総合的ミドルリーダー研修講座 プロジェクト研究報告会を終えて～

総合的ミドルリーダー研修講座では、小・中学校教諭10名が、自校の実態から、岡山市の教育をめぐる共通課題を明らかにし、解決に向けた方策を提案するため、「プロジェクト研究」に取り組みました。

2月22日（火）には、その研究報告会を、主幹教諭研修講座と合同で開催しました。ここでは、「プロジェクト研究」の概要を紹介します。

テーマ①	情報や思いを共有することで、ともに高め合う学校を目指して ～Chromebookの効果的な活用の提案～	 <p style="text-align: center;">ジャムボードを使ったパフォーマンス課題</p> <p style="text-align: center;">ジャムボードの活用方法についての提案</p>
メンバー	御津小学校・尾崎教諭 豊小学校・宮本教諭 浦安小学校・香川教諭 高島中学校・岡本教諭	
目的	・子ども同士、教員と子ども、教員同士が情報や思いを共有できるような Chromebook の活用方法について提案することで、岡山市の ICT 教育の推進を図る。	

テーマ②	学力向上を目指したアウトプット活動の充実	 <p style="text-align: center;">■手立て</p> <p style="text-align: center;">提案した6つの手立て</p>
メンバー	岡南小学校・森下教諭 富山小学校・熊谷教諭 西大寺中学校・山本教諭	
目的	・授業におけるアウトプット活動の充実と発問内容等の質の向上、自らの考えを自信をもって発表・表現することができる子どもの割合が増加することで、学力の定着を図る。	

テーマ③	「お助けファイル」を活用した人材育成	 <p style="text-align: center;">研究で目指す姿の構想図</p>
メンバー	西小学校・船倉教諭 福田小学校・御船教諭 福浜中学校・岩井教諭	
目的	・若手教員の課題やニーズの解決に向けた「お助けファイル」を作成し、全職員が各自の実践をデータで保存することにより、効果的な取組を共有したり研修を行ったりすることができ、限られた時間の中で効果的に学校全体の実践力を高める。	

### <主幹教諭，一般参加者からの声>

- ・ジャムボードやチャットを活用する有効性が見えた。活用することで授業がより良いものになったり作業がしやすくなったりするので、今後も活用方法を模索し、教員間で共有することが大切と感じた。
- ・校内研究等で新しい取組を行う時に、最も大切なのは教師の意識改革だと思う。「話す」「書く」「行動する」子どもの姿を大切にしながら取り組んだ実践は、教師の意識を変え、子どものやる気を変えていた。
- ・興味深い提案だった。「業務引継ぎシート」や「Chromebookの活用法」のような、ベテランから若手、若手からベテランといった双方向での学び合い、認め合いができ、実践していることに興味をもてるようなコミュニケーションや雰囲気づくりに努めたいと思った。



当日の発表の様子

各チームの研究成果は、  
C4th 書庫 > 教育研究研修センター書庫  
> 研修の成果に掲載します。(3月下旬予定)  
ぜひご覧いただき、各校での取組の参考として  
ご利用ください！



# 第25回 岡山市どろんこ教育賞・どろんこ教育賞特別賞

岡山市では、子どもの教育における全分野で日々地道に努力し、心豊かな子どもの育成に情熱を傾け、実践している教育関係者並びに明るい学校生活を創り出す上で懸命に努力している岡山市立学校に在籍する児童及び生徒、また、創作紙芝居の制作に取り組み、豊かな情操を培った岡山市の幼稚園・保育園・認定こども園を表彰しています。

**どろんこ教育賞受賞者**

○岡山市の子どもたちのために、日頃からたゆまぬ努力を重ねておられる教育関係者

岡山市立旭東中学校	養護教諭	早川 陽子
岡山市立西小学校	栄養教諭	西中 美雪
岡山市立蛍明小学校	副主査（再任用）	藤澤 秀子
岡山市立建部中学校	副用務技士長	戸田 光子
岡山市立第三藤田小学校	主任給食調理技士	貝原 茜
岡山市立岡南小学校	非常勤講師（会計年度任用）	瀧川 加代子
岡山市立竜之口幼稚園	園務員（会計年度任用）	渡邊 美子
岡山市立操南幼稚園	園務員（会計年度任用）	山西 光恵
岡山市立雄神幼稚園	園務員（会計年度任用）	奥山 京子
岡山市立御野小学校	用務員（会計年度任用）	徳山 勝義
岡山市立陵南小学校	用務員（会計年度任用）	森本 勝義
岡山市立千種小学校	用務員（会計年度任用）	田中 友成
岡山市立灘崎小学校	用務員（会計年度任用）	武田 修二
岡山市立南輝小学校	不登校児童生徒支援員	西村 美代子

○明るく楽しい学校づくりに努めた子どもたち

岡山市立建部中学校	生徒会執行部
岡山市立岡山後楽館中学校	生徒会
岡山市立高島中学校	美術部

**どろんこ教育賞特別賞**

今年度は、岡山市内の幼稚園、認定こども園の創作紙芝居2作品が受賞しました。どちらの作品も、子どもたちと先生方の豊かな発想力や想像力に溢れ、協力することの大切さや、相手を思いやる温かさが描かれており、豊かな情操が培われていることが強く感じられました。

○いきいき賞（主に、道徳性の芽生えが期待できるという面で優れている作品）

認定こども園就実こども園

○ほのぼの賞（主に、子どもらしい物語性に優れている作品）

岡山市立芥子山幼稚園



☆「創作紙芝居の写真とあらすじ」（平成29年度から令和3年度）を、岡山っ子育成局保育・幼児教育部幼保運営課のホームページに掲載しています。どうぞご覧ください。